

## オフィス・インフォメーション

### 「ライブラリー・ツアー」と

#### 「図書館利用ガイダンス」が開かれる

本学図書館は4月16日(月)から20日(金)にかけて、新入生を対象にしたライブラリー・ツアーを開催しました。また、4月23日(月)より27日(金)まで図書館利用ガイダンス「図書館利用の仕方 入門編」を行いました。この二つのガイダンスは図書館の基本的な使い方が説明されるため、つめかけた参加者は真剣な表情でメモをとるなど係員の話しに聞き入っていました。

一方、3回生と4回生を対象にした「論文作成支援月間」を5月7日(月)から31日(木)まで開いて、論文作成の手順やテーマにそった資料収集の仕方を説明し、参加した学生の皆さんから好評を博しました。



図書館のオリエンテーションやガイダンスは、この他にも様々なテーマのものが開催されます。また、開催のご案内は事前に学内のインフォボードや図書館のホームページ、さらには館内の掲示板などで行いますので、お誘い合わせの上ご参加ください。

### 年末と年度末の開館日の増加について

#### 全国平均より約30日多く開館

本学図書館はサービス体制の一層の充実を目指して、4月から開館時間の延長を行っています。また、開館日数についても今年度から年末や年度末

の開館日を増やし、年間約20日の増加させることを検討しています。文部科学省の「平成12年度全国大学図書館実態調査」によれば、現在でも本学の開館日数は全国の同規模大学(単科大学)の年間開館日数平均を12日上回っており、この計画が実施されますと約30日程度多くなることが見込まれています。

昨年度の開館日数	251日
本年度からの開館日数(予定)	271日

#### 全国同規模大学図書館の

平均開館日数(前述の実態調査より) 237日



### 電子ジャーナルEBSCOhost

#### データベースの利用について

本学図書館は、5月に電子ジャーナルEBSCOhost データベースの Master File Premier と接続契約を行いました。このデータベースを提供しているEBSCO Publishing社はアメリカにおける有数の商用データベース作成会社で、雑誌の電子化では定評があります。

今回接続した Master File Premier は、本年の3月現在2691誌の目次や抄録、さらには全文を収録した人文・社会科学系の洋雑誌データベースで、その内1772誌の内容がフルテキスト(全文)になっており、コンピュータ画面やプリントアウトした印刷体で読むことができます。

このデータベースの利用は本学の学生と教職員に限定され、本学図書館のホームページに作られた「世界の新聞と雑誌」と「データベース接続」の二つのアイコンから接続します。使用できる端末は、学内LANに接続された全ての端末から行えます。また、本学の専任教員が自宅など学外から研究のために利用される場合には、別途図書館での申し込みが必要です。